

大学生の息子がレポートを書かなくてはならないというので、あるとき親に質問をした。全く答えられないその親は、インターネットでも使って調べてみたかどうかとすすめた。しばらくして親がレポートの進み具合を尋ねたところ、息子は感謝しながら答えた。

「ありがとう、レポートを売っている人が10人以上見つかったよ」

——インターネットは便利すぎて恐怖すら覚えます。

今月号の特集は「With COVID-19時代のシミュレーション教育・オンライン診療」です。何の準備もしてないうちに電話での遠隔診療を解禁すると言われ、呆気にとられた記憶をお持ちの諸兄も多いと思います。しかし、時代の要請は確実にその先に向かっていきます。それがコロナ禍を契機に一気に加速しています。診療面ではオンライン診療がますます進んでいくと思われます。それに対応するためのデバイスも次々と開発されています。クリニックにおける日常診療や医療相談から、周産期、集中治療の分野でも導入がすすめられており、現状と今後の展望については是非ご一読いただきたい内容になっています。また、医学教育においても、コロナ禍の影響

で教室での講義や病棟実習ができない状態を受けて、Web講義は当然のこと、VRやインターネットを用いたシミュレーションや実習が実用化されてきました。医学部の教育は近いうちに一変するものと思います。

「綜説」では、コロナ禍で変化した家族関係の負の側面としてその増加が危惧されている児童虐待について、地域ネットワークの構築による対策に焦点を当てて解説していただいています。「診療」では乳児期の頑固な便秘症、外用薬による医原性の接触皮膚炎、という日常診療で大変役立つテーマを論じていただいています。「トピックス」は、川崎病患者におけるアセトアミノフェンによる薬剤過敏症の検討、重症心身障害児者における甲状腺機能に関する検討の2編です。どちらも大変興味深い内容です。

IT技術の進歩は驚くべきものがあり、医学の進歩にも寄与することは間違いありません。しかし、その功罪については国民的議論も必要ではないかと思っています。1億総ネット依存症などとなっては、冒頭のジョークのように笑えません。

(伊藤 保彦)

編集：伊藤保彦・中西敏雄・岡部信彦・清水直樹・高橋孝雄（ABC順）

## 小児科

第62巻 第4号 4月号

2021年4月1日発行（毎月1回1日発行）

定価3,080円（本体2,800円＋税10%）

年間購読料金

定価47,630円（本体43,300円＋税10%）

〔年間13冊（増刊号、増大号を含む）の誌代〕

〔年間予約購読者に限り送料無料〕

※別冊は年間購読に含まれません※

発行所 金原出版株式会社

発行者 福村 直樹

〒113-0034 東京都文京区湯島 2-31-14

Tel 03(3811)7165〔雑誌部直通〕

Tel 03(3811)7184〔営業部直通〕

Fax 03(3813)0288

<http://www.kanehara-shuppan.co.jp>

振替口座 00130-1-191269

印刷所 三報社印刷株式会社 Tel 03(3637)0005

広告申込先 福田商店 Tel 06(6941)5600

・本誌に掲載する著作物の複製権、翻訳・翻案権、上映権、譲渡権、公衆送信権（送信可能化権を含む）、貸与権、二次的著作物への利用に関する原著者の権利は、金原出版株式会社が保有します。

・**JCOPY**＜出版者著作権管理機構 委託出版物＞

本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に、出版者著作権管理機構（TEL：03-5244-5088、FAX：03-5244-5089、E-mail：info@jcopy.or.jp）の許諾を得てください。